

議会だより入善

GIKAI DAYORI

NYUZEN

No. 199

2021年11月27日



じゅわ〜と
にゅうぜん

9月
定例会

地域の郷土芸能を学ぶ入高生

主な内容

補正予算の概要	〇〇〇	2P
常任委員会レポート	〇〇〇	6P
代表・一般質問(8議員)	〇〇〇	8P
新しい議会組織決まる	〇〇〇	16P
町独自で農業者に支援	〇〇〇	18P

インフルエンザ予防接種 小中高生にも助成

9月定例会の
あらまし

9月議会は、7日から24日までの18日間開会し、町長から提案のあった令和3年度補正予算1件、令和2年度決算認定など議案8件、議員提出議案2件について審議し、すべて可決した。

また、教育委員会委員の選任、人権擁護委員候補者の推薦について同意した。陳情1件については不採択とした。

補正予算の概要

一般会計の補正予算の主な内容は、新型コロナウイルス感染症拡大防止やワクチン接種にかかる事業費の増額である。

歳入、歳出ともに6669万1千円を追加し、総額104億9584万3千円とした。

◎主な事業

○新型コロナウイルス感染症対策事業費 60万円

避難所における備蓄品の充実を図るために必要な事業費を増額する。

○感染症予防事業費 487万円

新型コロナウイルス感染症とインフルエンザの同時流行を抑制するため、小・中学生、高校生（相当）におけるインフルエンザ予防接種費用の助成拡充に伴う事業費を増額する。

○新型コロナウイルスワクチン接種事業費 2155万円

ワクチン接種の期間延長等に伴う事業費の増額および時間外・休日の集団接種会場への医療従事者の派遣に係る医療機関への財政支援の実施に伴い増額する。

○地域経済等支援事業費 500万円

「富山県新型コロナウイルス感染症拡大防止協力金（第3次）」または「富山県飲食業関連事業者支援給付金（第2次）」を受給した事業者に対し、町単独で一律5万円を上乗せ交付するため増額する。

○在宅介護支援事業費 773万円

認知症高齢者グループホームの改修に対する補助金を計上する。

○すこやか食育事業費 1239万円

感染症予防の一環として小中学校や保育所において飲用する乳酸菌飲料の飲用期間を拡大するため増額する。

令和2年度決算認定

一般会計は賛成多数で認定、5特別会計は賛成全員で認定された。

一般会計決算に関する討論

反対討論

松田 俊弘 議員

投資的経費（土木建設事業）への支出が多く、社会保障分野の扶助費が少ない。大型の公共事業への集中は避けて計画的に行い、住民のくらしの充実や地域の要望の実現に予算を回すべきだ。

町は感染症予防対策支援や県が休業・時短要請した事業者への上乗せ給付、ひとり親家庭への商品券支給などの取組みを行ってきたが、その財源のほとんどが国からの臨時交付金である。町独自の財源を使ってでもきめ細やかな対応や支援を行うよう求める。

賛成討論

本田 均 議員

人口減少問題に対し、3つの施策を中心に着実な成果をあげている。また、近年懸念であった庁舎建設について公募型プロポーザル方式を採用し、中央公園整備と合わせ環境整備の進捗が顕著である。

多くの施策に取組みながら、健全財政を維持していることは高く評価しており、今後の行政運営にも期待する。

議員提出議案

コロナ禍による厳しい財政状況に対処し

地方税財源の充実を求める意見書

新型コロナウイルス感染症拡大により地方財政は来年度においても巨額の財源不足が避けられない厳しい状況である。

地方自治体は地方創生、雇用対策、防災・減災対策、社会保障等への対応に迫られており、国に地方税財源の充実を強く求めるため、意見書を提出する。

賛成全員で可決

米の需給と価格の安定を求める意見書

令和3年度産米の概算金は、コロナ禍による業務用米の需要低迷などにより、県内ではコシヒカリ60キログラム当たり前年比2千円の減となるなど大変厳しい状況である。

米価の安定を図るためには、全国的な生産調整体制の構築や備蓄米の運営改善、新たな消費拡大や輸出先の拡大などが必要であり、これらの対策を政府に求めるため意見書を提出する。

賛成全員で可決

陳情

コロナ禍による米の需給改善と米価下落の対策を求める陳情

陳情者

農民運動富山県連合会

代表 林 新義

反対多数で不採択とした

工事・契約を議決

予定価格が5千万円を超える公共工事の請負契約について可決した。

○入善海洋深層水取水施設整備工事請負契約

請負者

清水建設株式会社

請負金額

9億3027万円

条例の一部改正

次の条例案を審議した。

・入善町ひとり親家庭等医療費助成に関する条例の一部改正について

賛成全員で可決

教育委員会委員の同意

9月30日で任期満了となる委員に引き続き加藤裕子氏を任命することに同意した。

(任期は4年)

再任

加藤 裕子氏(上野)

人権擁護委員候補者の推薦

12月31日で任期満了となる委員の候補者として、次の2名の推薦について同意した。

(任期は3年)

再任

佐藤 正紀氏

新任

安達 秋美氏

臨時会 8月3日

8月臨時会は、令和3年度一般会計補正予算1件、議案1件を審議し、すべて可決した。また、令和2年度一般会計および特別会計の歳入歳出決算の認定について、次期9月定例会まで決算特別委員会を設置し、審査することとした。

委員長 松澤孝浩 委員 松田 俊弘
副委員長 本田 均 五十里国明

鍵田 昭

鍋嶋慎一郎

補正予算

○子育て支援事業費 134万円

ワクチン接種を予約した中高生を対象に、1人あたり1千円分の地域交通等利用券を支給する。

○教育振興費 2000万円

井田博氏からの寄付金を原資として、「入善町未来の子ども育成プロジェクト基金」への積立てを行った。小学生の夢を育むために活用する。

条例の制定

次の条例案を審議した。

・入善町未来の子ども育成プロジェクト基金条例の制定について

賛成全員で可決

8月臨時会の議決状況

氏 名		鍋嶋慎一郎	鍵田 昭	池原 純一	井田 義孝	本田 均	中瀬 淳哉	田中 伸一	五十里忠茂	五十里国明	佐藤 一仁	松澤 孝浩	松田 俊弘	元島 正隆
議 案 番 号														
議案第34号	令和3年度入善町一般会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第35号	入善町未来の子ども育成プロジェクト基金条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

9月議会の議決状況

氏 名		鍋嶋慎一郎	鍵田 昭	池原 純一	井田 義孝	本田 均	中瀬 淳哉	田中 伸一	五十里忠茂	五十里国明	佐藤 一仁	松澤 孝浩	松田 俊弘	元島 正隆
議 案 番 号														
議案第36号	令和2年度入善町一般会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×	○
議案第37号	令和2年度入善町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第38号	令和2年度入善町簡易水道特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第39号	令和2年度入善町育英奨学資金特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第40号	令和2年度入善町下水道特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第41号	令和2年度入善町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第42号	入善海洋深層水取水施設整備工事請負契約について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第43号	令和3年度入善町一般会計補正予算(第4号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第44号	入善町ひとり親家庭等医療費助成に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
陳 情 第 2 号	コロナ禍による米の需給改善と米価下落の対策を求める陳情	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	○	×
同 意 案 第 5 号	入善町教育委員会委員の任命について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
諮 問 第 2 号	人権擁護委員候補者の推薦について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議 員 提 出 議 案 第 3 号	コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議 員 提 出 議 案 第 4 号	米の需給と価格の安定を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※ ○：賛成、×：反対

令和2年度決算を認定

決算特別委員会レポート

審査の経過

8月10日から5回にわたり決算特別委員会を開催した。

委員会には会計管理者および担当課長に出席を求め、決算添付書類等の説明を受け質疑を行った。また、従来実施していた現地視察はコロナ感染状況を考慮して今回は実施しなかった。

さらに、8月25日には総括質疑、討論、採決を行い、一般会計は賛成多数で、特別会計5件は賛成全員で、それぞれ認定すべきものと決した。

○主な審査意見

新型コロナウイルス対策の検証

新型コロナウイルスに対しては、各課のすべての事務事業でさまざまな対策が行われたが、

今一度その効果を検証すると共に所管の状況を分析し、今後の必要な対策に生かしていただきたい。

特に、学校、保育所などの施設管理面では、12歳未満の子供のワクチン接種が現状ではできないことを踏まえて、子供たちを守る取組みを確実に進めていただきたい。

また、引き続きコロナで影響を受ける事業者や、支援を必要とする困窮者に対する支援を適宜検討していただきたい。

委託業務について

継続的に実施される委託業務については、業務の安全かつ確実な履行が必要になるが、新たな競争原理を働かせることによる価格の適正化、多様な業者の育成という観点も大切であるとの意見があり、

引き続き委託業務の在り方について調査研究を行っていただきたい。

避難所運営体制について

全国的な自然災害の頻発やコロナ禍の状況を踏まえて、主要な避難所20カ所に感染症対策に配慮した資機材配備が行われた。

今後は、避難所運営マニュアルの地区への浸透を図り、迅速に避難所を開設し適正に運営できるように体制に努めていただきたい。

除雪対策について

昨年度は記録的な豪雪となり、懸命な作業にも関わらず道路除雪が大幅に遅れ、各地で身動きが取れない状況が相次いだ。

これらで得られた教訓を今後に生かすため、

除雪計画の不断の見直しを行っていただきたい。

また、地域ぐるみの除排雪委員会とも十分に連携するなど、円滑な除雪体制の構築に努めていただきたい。

農用水路の転落防止対策について

近年、高齢者を中心に農用水路への転落死亡事故が多発しており対策が急務である。今まで

も転落防止柵や、網などの安全施設の整備に取り組んでこられたが、危険性、緊急性などを考慮しながら、さらなる整備促進に努めていただきたい。

また、農地環境を保全する多面的機能支払支援事業の資源向上組織（共同活動）による独自の防止網設置に取り組む地域もある。これらの事例紹介を通じて、同様な事業の積極的な活用が図られるように周知していただきたい。



円滑な除雪体制の構築を

レポート

総務 常任委員会

グループホームの大規模改修に補助

Q 国から773万円の交付を受けて、グループホームの改修に補助することだが、どの施設か。

A 東狐の施設で、屋根などの改修費約940万円の事業が対象だ。

この補助事業は定額補助で、グループホームへの補助上限額の773万円が交付された。

ちなみに、この制度では小規模特別養護老人ホームも対象となっており、補助上限額は1540万円となっている。

Q 在宅介護施設の整備などには県の基金から補助されるが、今回なぜ国から直接補助が来たのか。

A 防災・減災や大規模改修のメニューで、県とは別に国の事業がある。国と県の要綱をみてどちらにするか検討する。

Q どの程度の改修まで補助対象となるのか。要件など規定はあるのか。

A 細かな規定はない。老朽化に伴う大規模改修の要望を受け、国と協議して決まった。

国からのコロナ対策臨時交付金の追加は

Q 今回、保育所と小中学校での乳酸菌飲料の提供期間の延長や、時短要請に応えた飲食店に5万円支援することだが、財源は国からのコロナ対策臨時交付金なのか。

A 指摘の通り臨時交付金を当てるものだ。この交付金は、令和2年から3年で、総額1億6千万円の内示を受けている。

Q 他市町の飲食店への支援は、町の4倍のところもある。今後、コロナ対策臨時交付金の追加はあるのか。あるのならそれを使ってさらなる支援を考えてはどうか。

A 今後、追加があるかどうかは分からない。飲食店への支援は各市町村の判断で決めており、一律でなければならぬものではない。

医療従事者の時間外ワクチン接種に補助

Q 時間外や休日にワクチンを接種した医療従事者に、補助金を支給することだが、これは接種開始後にできた制度か。

A その通りで新たに国が制度化したものだ。国が100%負担し、県経由で交付される。

ワクチン接種予約の混乱を今後の教訓に

Q 3回目のワクチン接種が議論されている。

町のワクチン接種では当初、予約が取れず混乱を招いた。これを次にどう生かしていくのか。

A 3回目の接種については、今のところ年齢や対象者などについて、県からは何の情報もない。

最初の接種案内では、65歳以上の全員に一斉に案内状を送ったことで、コールセンターに電話がつかない状態となった。

最初から年齢を細かく区切って案内すればよかったかも。

接種日を自治体が決めているところもあり、3回目の接種があればこうしたことを生かしていきたい。

なぜペットボトル購入がコロナ対策交付金の対象となるのか

Q 国のコロナ対策臨時交付金を財源に、災害備蓄品としてペットボ



ワクチン接種を待つ住民

トル飲料水を1万2千本購入するとしている。なぜそれがコロナ対策になるのか。

A 町の集団接種会場で接種が始まった途中から、災害対策に備蓄していたペットボトルを会場で配布した。15分間の経過待ちの間に、自由に持って行ってもらえるようにした。今回の補正はその補充に当てるものだ。

常任委員会



田の陥没復旧を予算化

産業教育 常任委員会

田の陥没復旧や用水の安全施設整備に予算を追加

Q 農地事務費45万円とあるが、内容は、

A 田の陥没復旧で場所は目川、青木、一宿、浦山新の4カ所だ。

Q 県単土地改良整備事業費として工事費400万円とあるが、内

容は、

A 入善地区では、東洋紡近くの寺田川に転落防止柵を90戸設置する。

また、福島地区の用水に転落防止柵を設置する。

飲食店に対しさらなる支援を

Q 新型コロナウイルス

Q 感染拡大防止支援金について、町は一律5万円の支援金を支給するが、他市町村に比べると低い金額だ。例えば黒部市では10万円だ。この金額の根拠は、

A 町が昨年度、時短の際に上乘せした時も5万円であり、その事例をふまえて設定した。

Q 今後、他の支援は考えていないのか。

A 今後は上乘せではなく、経済がしっかりとまわるよう、情勢を見極めながら支援をしていきたい。

冬に備え除雪機械等を修繕

Q 今年の大雪の際に破損した路肩等の修繕費を予算化したのが、何力所あるのか。

A 路肩は49カ所修繕する。4月以降のパトロール等で発見した。

また、除雪機械のバケツトも破損したため修繕を行う。

乳酸菌飲料L-92配布期間を延長

Q 乳酸菌飲料L-92の配布期間を延長するとのことだが、対象と期間は、

A 町では3歳児から中学生までを対象に給食などで配布している。

当初は2月から3月上旬までの26日間の計画だったが、10月から3月上旬までの97日間に延長する。

小学校低学年まではワクチン接種ができないため、免疫を付けてもらいたいと考え、実施する。

富富富給食郷土愛の醸成に

Q JAみな穂の寄付を活用し、富富富給食を行っているが、工夫をしてさらに郷土愛の醸成につながるような取組みをしていただきたい。

A 入善町の富富富給食の取組みは県内でも早く取組まれた。

本年11月から県内全域で行われるとのことだ。食べて美味しかったという子どもたちの声は、生産者の販売意欲につながるのと声もある。

毎月23日を「富×3の日」として子どもたちや親に、なじみがあるように設定した。

今後も検討していきたい。

6月議会報告の補足説明

6月議会で井田義孝議員はケーブルテレビのすでに整備済みの当初整備費用と今後の光回線化工事にかかる金額を質問しました。

竹島企画財政課長は「当初整備に40億円、光幹線整備19億円、引き込み線18億円、既存線撤去に3億円だ」と答えました。

この質問をお伝えした7月27日発行の議会だよりで、井田議員が「80億円もかけて住民の利益になるのか」と質問しているのは、この当初整備にかけた40億円と合わせた金額です。

今回の光回線化と既存線の撤去に新たにかかる費用は40億円であることとを補足して説明します。

なお、この事業は入善町、朝日町、黒部市で構成する組合で実施しているものです。



新庁舎のイメージ図

新庁舎整備

町民に丁寧の説明し
一緒に作り上げていくべきだ

町長

パブリックコメントを実施し
町民からの意見をいただく



中瀬 淳哉 議員（アクセス）

問 新庁舎整備は、基本設計などを公開しながら、町民に丁寧に説明し、一緒に作り上げるのが大切だと考えるがど

うか。

笹島町長 庁舎整備を進めるにあたり、町民の意見に丁寧に耳を傾けてきた。意見や提言は内容を精査し、基本設計や実施設計に取り入れている。

新庁舎の全体像がまとまってきたので、町広報やホームページなどで外観イメージや平面図、整備スケジュールなどを示したい。併せて、パブリックコメントを実施し、町民から意見をいただきた

いと考えている。寄せられた意見は内容を精査し、必要に応じて今後の設計にも反映させていきたい。

問 新庁舎ができていく

様子を中学生などに見学してもらい、キャリア教育や郷土愛の醸成に生かしてはどうか。

町長 検討していく。

賑わいの相乗効果となるよう周辺整備を

周辺の状況変化なども踏まえながら検討する

問 新庁舎周辺はわくわくドームや水の小径など子育て・健康増進エリアとなった。

人の流れを生かし、賑わいの相乗効果となる仕掛けをすべきだ。

町長 庁舎整備を進める中で、または新庁舎開庁後を想定し、周辺の状況変化なども踏まえなが

ら、検討していきたい。

現庁舎の跡地利用の構想はないのか

今のところは持っていない

問 現庁舎の跡地利用は、いつ頃からどのような検討しようと考えているのか。現時点で跡地利用の構想はないのか。

町長 跡地利用については、単に町民会館の駐車場とすることなく「町民全体の利益にかなうもの」「町全体の発展に寄与するもの」といった観点からの有効活用を検討すべきと考えている。

検討の着手時期について、現時点では明確に決めていない。構想についても、今のところは持っていない。

まずは、新庁舎の整備・建設を最優先に進めてい

きたいと考えている。

婚活事業を民間に委託してはどうか

あらゆる可能性について研究していきたい

問 婚活事業を民間に委託してはどうか。

梅沢結婚・子育て応援課長

婚活事業は6年余りで事業基盤を築き成果を上げているが、課題が生じていることも確かだ。

課題を解決するためにも、多様な発想を取り入れ進めていく必要がある、民間への委託もその一手法と考えている。

民間委託の受け皿はどのような団体が適当か、どこまで委託をするのがよいのか、あるいは、このまま行政主体がよいかなど、今後あらゆる可能性について研究を進めていきたい。

コロナに感染したら入院できるのか 町民に寄り添う支援を

町長 入院は厚生センターの医師が判断

問 政府は「重症化リスクのある人に限り入院、それ以外は自宅療養が基本」としている。コロナ病床は一杯だと聞くが感

染したら入院できるのか。町の自宅療養者は何人か。町はこれまでの感染者の現状や経過を把握しているのか。

笹島町長 厚生センターの医師が入院か宿泊施設療養、自宅療養かを判断する。

市町村ごとの療養者数やその後の経過は県が公表しておらず把握できていない。

新川に治療できる療養施設を

現状で患者の受け入れは可能

問 軽度のうちに「抗体カクテル療法」が行える療養施設が新川に必要な

だ。

町長 新川医療圏では最大80床のコロナ病床が計画されており、現状は患者の受け入れは可能だ。宿泊療養施設も富山市に500人分確保されている。

自宅療養の手引き作成で町民に支援を

町広報等で検討

問 厚生センターまかせにせず、町で患者・家族向けの自宅療養手引きを作るべきだ。

また相談電話や買い物支援など町として自宅療養者の生活を支援すべきだ。

町長 厚生センターが療養リーフを配布し、食料等で親族の支援が受けられない人は宿泊療養施設に入ってもらっている。

食料などを自宅に届ける事業を始めた自治体もあるが、ニーズはほとんどないと聞いている。

問 町内の感染者に関する情報が全くわからないでは感染対策のしようがない。

町は主体的な対策を打つために県に情報を求めるべきだ。

梅津副町長 県が公表しない以上、町は啓発と公共の場の消毒しかできない。療養の手引きは町の広報等で検討する。

免許返納者への交通利用券は家族も使えるように制度の趣旨を踏まえ次の検討へ

問 町は運転免許を返納した65歳以上の方に対し、年間3万円分が3年間支給される公共交通利用券を交付している。

しかし利用できるのは本人のみで、病気や体調不良でやむなく返納した人は使えない。家族も使えるようにすべきだ。

田中キラキラ商工観光課長

返納者本人の外出支援制度だ。家族も同乗できるので活用してほしい。

問 受けられるサービスに格差が生まっている。特例措置も含め柔軟な運用を考えてほしい。

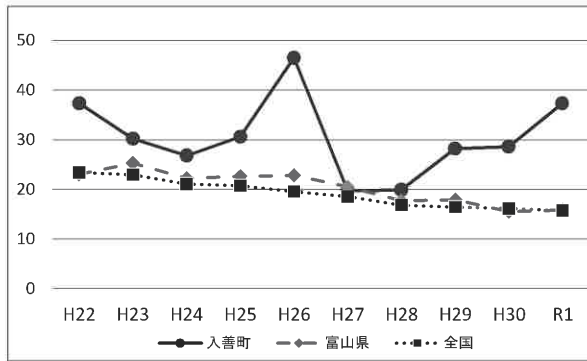
町長 制度の趣旨を踏まえた上で次のステップを考えた。



新川地域にも療養施設を



井田 義孝 議員（日本共産党）



人口 10 万人あたりの自殺者数（厚労省資料より）

自殺者を出さないための対応策は 元気わくわく 地域ぐるみで自殺対策の展開に 健康課長 取組んで行く



五十里 忠茂 議員

問 統計から見えてくる自殺にいたる要因は、自然災害、地域共生志向の疎遠化や経済、健康、家族、教育などの生活

環境の変化から、東日本大震災やリーマンショック後には、自殺者が増えた実態もある。

今コロナ禍にあつて行動制限や経済の低迷から生活困窮者にとつては、厳しい状況下にあるものと思われる。

これらの状況を鑑み、自殺者を出さない生活と命を守る為の包括的な支援対策を講ずるべきだ。

小路元気わくわく健康課長

厚生労働省の人口動態統計の人口10万人あたりに換算した自殺による死亡者数は、令和元年は全国平均15・7人、富山県は15・8人に対し、入善町は37・3人と全国、県

平均を上回る水準であることから町では、平成21年度から自殺対策事業「こころ晴ればれプロジェクト」に取組んできた。

しかしながら、町の自殺死亡率は依然として高い状態が続ぎ、当事者が抱えている問題が複雑・多様化してきている。

このような状況から、従来の制度の枠組みの中では解決が困難な状況に陥っている人が、それでも生きる道を選ぶことができるように、平成31年に「入善町自殺対策計画」を策定した。

自殺で亡くなる方を一人でも減らし、生きることの包括的な支援とし

て事務事業にあたることができるよう、役場の全職員を対象に職員研修の一環として「ゲートキーパー養成研修会」を開催している。

自殺対策での地域連携

関係機関を集めてケア会議を開催している

問 新川厚生センター、町の保健センター、地域包括センター、それと精神科病院など、新川圏における包括的な連携が必要と思うが。

小路課長 新川厚生センターでは精神に関する専門相談や引きこもり相談、アルコール相談等も実施している。

医療機関とのつながりも強く、主治医（精神科）

からの指示があれば、厚生センターは当事者へ訪問や相談も行っている。必要がある場合は、厚生センターから依頼を受け、町保健師が訪問に同行することもある。

また、心の病で入院されていた方が、退院時に地域生活で支援が必要とされた場合には、医療機関が退院調整を図り、関係機関を集めてケア会議を開催しており、必要に応じて厚生センターや町も出席を求められる。

自殺対策については、引き続き、町も地域も、様々な人や組織が自殺対策の一翼を担っているとの意識を広げるとともに、今後も対応できる人を増やすことを推進していく。

米価暴落に歯止めをかけるため

国に米価の下支えを求めよ

町長

できれば北陸農政局管内で一丸となつて要望していけるようにしたい



刈り取り前の稲穂

問 コロナ禍で外食産業のコメの需要が減ったため、在庫が増えて米価が暴落している。農協の概算払金は、コ

シヒカリで昨年の一俵1万3千円から2千円の減と15・4%も下がり、農家はこのままではやっていけないと嘆いている。

町は県と協力し、国に過剰米を買い上げて市場から隔離するなど、米価を下支えするよう求めるべきだ。

笹島町長 今の米の値段はかつての半分以上で、農家の経営に関わる大きな問題だ。

町や県で対応できる問題ではなく、できれば北陸農政局管内で一丸となり国に要望していけるよう、周りの市町村と打ち合わせしていきたい。



松田 俊弘 議員

保育所職員や学校教員のワクチン接種状況はどちらも8月中に終わっている

問 9月初めに全国で185の保育所が、コロナ感染で休園になった。

ワクチンを接種できない子どもたちを感染から守ることが重要だ。

6月議会で保育所職員と学校の教員に優先的にワクチンを接種するよう提案したが、状況はどうなっているか。

町長 保育所職員は新川の2市2町の広域接種で、学校の教職員は県の大規模接種で8月に終わっている。

保育所や小学校のPCR検査は幅広く

必要ならば積極的に幅広く検査を実施

問 保育所や学童保育は密が避けられない。

もし、こうした所で感染者が出た場合は、濃厚接触者に限らず幅広くPCR検査をすべきだ。

町長 新川厚生センターでは、必要と判断すれば、大人数であっても積極的に幅広く検査を実施していると聞いている。

フルタイムで働く施設管理者にも期末手当を

一定の待ち時間が発生するので対象としない

問 地方自治体が臨時・非常勤で採用している職員は、法改正で手当や休

暇などの改善ができるようになった。

黒部市や朝日町では、臨時の職員にも有休を保障しているのに町は未だに実施していない。

また、フルタイムで働くコミュニケーションセンターの施設管理人に、期末手当を支給しないのは理解できない。

臨時の職員がいなければ町行政は回らない。早期に改善すべきだ。

真岩総務課長 臨時・非常勤の職員は、1年の任用が基本なので有休は馴染まない。

施設管理人は、一定の待ち時間が発生していることから、期末手当の対象外としている。



多くの荷物を持って登校する小学生

新入学児童の通学用リュックサックの 無償配布に取組んではどうか 結婚・子育て 応援課長 保護者の意見も踏まえ探っていく



佐藤 一仁 議員

問 立山町が通学用リュックサック無償配付事業に取組む。
コロナ禍の家庭の経済的負担を軽減するために

も、町も事業化に取組んではどうか。

梅澤結婚・子育て応援課長

近年、ランドセルの代わりとして、約1万円で購入できるリュックサックを無償配布する自治体が出てきた。

ランドセルの平均価格が約5万円と高額であることも一因だ。保護者や学校の意見も踏まえた上で、探っていきたい。

希望者へのワクチン接種は11月に完了可能か

集団接種を終了しても10月末で完了見込みか

問 新型コロナワクチン接種の現状はどうか。
笹島町長 9月10日時

点では12歳以上の町民2万2144人のうち、85・9%の1万9032人が接種や予約を済ませている。

65歳以上では94・2%、高校生86・0%、中学生は76・4%と順調だ。

問 希望者への接種は11月までに完了可能か。

町長 9月27日で集団接種を終了しても、個別接種が10月24日まで予定どおり実施されれば、職域接種と合わせ9割に達する見込みだ。

問 10歳未満も含めて、子どもたちへの接種はどう対処していくのか。

町長 国の方向性を注視し、可能になれば直ちに医師会と協議し対応する。

日曜休館の地区公民館があるのはなぜか
日曜日の利用頻度が低いからだ

問 町内10地区の地区公民館の運営や休館日に違いがあるのはなぜか。

若林教育委員会事務局長
町直営方式と委託管理の2通りがある。入善と野中が委託管理で、他8地区が直営だ。

休館日は青木と新屋が日曜日、他は月曜日だ。日曜日の利用頻度が低いのが理由だ。地区からの申し出があれば協議する。

免許証返納者の公共交通利用券を商品券に有効な支援策の調査が必要

問 運転免許証自主返納者への公共交通利用券をシニアカー購入などに利用できるよう、商品券にしてはどうか。

田中キラキラ商工観光課長
返納者の外出支援のために、利用券3万円分を3年間交付している。

他自治体では利用券かシニアカー購入補助の選択ができる制度もある。

町内返納者からの要望は無いが、多様な外出支援の観点からも、有効な支援制度の調査が必要だ。



令和3年産コシヒカリの刈り取り

令和3年産米の「概算金」下落に対し、
農家に寄り添った施策を考えるべきでは
関係機関と連携し、
経営の安定と支援に努めていきたい

問 米の「概算金」は、
当町の主力品種コシヒカリの1等米で2千円減の1万1千円と発表された。

農家にとって1畝当たり約20万円の減収はかなりの痛手であり、離農者や耕作放棄地の増加が危惧される。

町として農家に寄り添った施策を考えるべきでは。

笹島町長 町として今後の米価の上昇には、新型コロナウイルス感染症が収束に向かい、落ち込んだ業務用需要が持ち直すことが必要不可欠であると考えている。

そのためにもワクチン接種の推進など、コロナ対策をしっかり取組んでいきたい。



鍋嶋 慎一郎 議員

手に対し、各経営体の経営状況に応じた適確な支援を行うなど、継続して農業経営の基盤強化に取り組んでいきたい。

町でもスマート農業推進に力をいれては

さまざまな事業を積極活用し普及に努めたい

問 ロボット技術やICT、AIやIoT等の先端技術を活用し、超省力化や生産物の品質向上など、さまざまな課題を解決するスマート農業を導入・活用による農業の導入・活用によつて、農作業の効率化や生産コスト削減など、担い手の経営基盤強化に資する面に大変期待している。

また、経営面積の拡大や複合経営を目指す担い

関係機関と連携し、スマート農業機器の導入に係る様々な補助事業などを積極的に活用しながら、スマート農業の普及について推進していきたい。

消防団による用水転落防止啓発活動を

消防団や関係機関と協議していきたい

問 県内では消防団が火災予防の巡回をしながら、転落防止への注意を促す放送を流しているところがある。

本町でも農業用水路転落防止期間のある春、秋、冬だけでも同様の啓発活動をしてもらっては。

高源建設課長 消防団では火災予防の啓発活動、気象警戒、断水時の警戒などを実施している。

各分団が管轄地域にある農業用水路の状況を常に把握していることから、地域においてさまざまな助言と、地域への貢献活動は防災の要として大きなものであると認識している。

町内の各地域における、農業用水路への転落事故防止に関して、さまざまな話し合いの中に消防団員が参加していくことは地域としても心強いところではないかと考えている。

消防団による啓発活動については、今後、消防団や関係機関と協議していきたいと考えている。

消防団については、今後、消防団や関係機関と協議して



新庁舎整備予定地

町民に新庁舎建設場所のアンケート調査をすべきだったと思うが 副町長 多数決はいかなものと考え整備を



五十里 国明 議員

問 当局は、庁舎整備の基本方針や導入機能などについて、幅広い見地から建設的な意見をいただいたと再三答弁している

た。

町民の考えと町政懇談会の内容を第一に考えるとき、町民に新庁舎建設場所のみのアンケートの調査方法も一考と思うが、なぜそれができなかったのか。

コロナ禍で毎日、町からの3密を避ける報道がされていた時、アンケート調査で町民の建設場所の希望を確認することができたのではないか。

梅津副町長 新しい庁舎については既存の場所も含めて今後のまちづくりを念頭に、町のほうで10力所程度を考えてきたところだ。

場所の選定方法について

では、住民による多数決というのはいかがなものかと考え進めてきた。

町として今後の機能、あるいは今後の庁舎が持つ目的、特に防災という観点から、総合体育館、あるいはサンウエル、中央公園近くの現在の位置で決めさせてもらった。今後、場所について再考というわけにはいかない。いわゆる後戻りできない部分の意見については、しっかりと説明する必要がある。

**8号線に交差する町道の改良を
現在の現道拡幅事業の優先を**

問 役場前交差点は8号線現道拡幅で幅員は28メートルと広くなる。

そのため高齢者や弱者が横断に要する時間と、安全面で大きな問題になる。

年々増える高齢者が交通面で良くなった8号線で、横断距離が長くなり横断することの不便さから町の分断につながりかねない憂慮すべき問題だ。8号線に交差する町道を立体交差にするのを国・県に最重要要望事項とし、「当局と議会」が

一丸となって要望活動すべきと考えるがどうか。
高源建設課長 役場前交差点を立体交差することが必要との事だが、町は国の整備により交通がスムーズになる事を期待しており、現在の現道拡幅事業を優先して推進することが重要と考えている。

また、市街地からの主要なアクセス道路として、入善高校西側の県道入善宇奈月線があり、現在、期成同盟会をつくり、歩道の設置などを県に要望している。

加えて上田地内に県道からのアクセス道路新設中であることも理解してもらいたい。

地域コミュニティ・パートナーシップ構築の狙いは

総務課 将来は一括交付金制度の導入を想定している

問 地域コミュニティ・パートナーシップ構築事業の狙いは何か。また、今後の対応と展望を示せ。



桐山公民館のパートナーシップコーナー

真岩総務課長 本事業

は、区長会をはじめ地区内の各種団体・組織が一堂に会し、地区が抱える課題や問題について協議していた、だけの協議会の設置をお願いしている。

その趣旨は、縦割りではなく横の連携を広く取ること、地区内の話し合いがより深まること、また、将来的に一括交付金制度が導入された場合に、協議会がその配分決定あるいは受け皿となる組織へ移行することを想定している。

次に、今後の対応と展望について、現状においては、上原、青木、桐山、



池原 純一 議員

横山、舟見の5地区において事業が取組まれている。

町は、取組みがなされていない地区へは、区長連絡協議会などにおいて制度の周知を行い、事業実施の理解を深めていた、だけのよう努めている。

モデル事業から10年を経過しているが、これらは一朝一夕で実現する事業ではないことから、今後とも地道に粘り強く取り組んでいく。

コロナ禍での郷土芸能の保存と継承は

長い歴史の中で、大切な財産と認識している

問 コロナ禍における郷

土芸能の保存と継承について町の考えを示せ。

若林教育委員会事務局長

町民同士が交流を深める機会が失われており、地域コミュニティの希薄化の一層の進行などを懸念している。

とりわけ、地域の伝統文化行事については、文化の継承という長い歴史の中で、大切な財産と認識し、看過できない状況と捉えている。

そこで、町では、この現状を的確に把握するため、指定民俗文化財をはじめとした、伝統文化関係団体に対し、現在の活動状況や新型コロナウイルスの影響に伴う祭りや行事等の開催有無について、随時聞き取りを行い、

その把握に努めていきたい。

桃李統合保育所の進捗状況とスケジュールは

令和5年4月の開所を目指す

問 桃李統合保育所（仮称）整備事業の進捗状況と今後のスケジュールは。

梅澤結婚・子育て応援課長

新桐山町営住宅跡地も活用しながら、桃李小学校の南西側を整備予定地として進めている。

現在、基本構想、基本設計を行っている。

今後、令和5年4月の開所を目指し、今年度中に実施設計、用地取得のほか、造成工事、建設工事に着手する。

新しい 議会組織決まる

臨時会
11月1日

就任のごあいさつ

議長

野島 浩

このたび、議員各位のご推挙を賜り、議長の重責を担うこととなりました。

身に余る光栄であり、身の引き締まる思いであります。

町を取り巻く状況は、少子高齢化や急速な人口減少による地域活力の低下など課題が山積しています。

子育て支援や協働のまちづくりを進めるとともに、地域活力の向上に重点をおいた町づくりを目指していかねければなりません。

また、基幹産業である農業や農村環境のさらなる整備、さらに自然災害に強い安心・安全な環境整備に向け、当局や町民の皆様とともに努力してまいります。皆様のご支援とご協力をお願いいたします。

副議長

中瀬 淳哉

このたび、議員各位のご推挙により副議長に就任させていただきます。

副議長の役割は、議会を代表する議長を補佐すること、また議長が職務を行えない場合、代わりにその職務を行うことであります。

議会議員として、まだまだ経験不足のところはありますが、これまで以上に精進し、副議長としての職務を全うできるよう努めていきたいと思っています。

今回の入善町議会議員選挙は、昭和60年以来36年ぶりに無投票となり、なり手不足が顕著に表れた結果となりました。

この結果に真摯に向き合い、議会改革を進めることで、課題解決に努めていきたいと思っています。

☆総務常任委員会

委員長	本田 均
副委員長	鍋嶋慎一郎
委員	元島 正隆
〃	野島 浩
〃	井田 義孝
〃	岡島 功
〃	鍵田 昭

☆議会運営委員会

委員長	元島 正隆
副委員長	中瀬 淳哉
委員	松田 俊弘
〃	佐藤 一仁
〃	本田 均
〃	池原 純一
〃	鍵田 昭

☆産業教育常任委員会

委員長	池原 純一
副委員長	五十里国明
委員	松田 俊弘
〃	松澤 孝浩
〃	佐藤 一仁
〃	田中 伸一
〃	中瀬 淳哉

☆議会広報編集 特別委員会

委員長	中瀬 淳哉
副委員長	鍋嶋慎一郎
委員	松田 俊弘
〃	本田 均
〃	池原 純一
〃	鍵田 昭

☆議会改革特別委員会

委員長	佐藤 一仁
副委員長	鍵田 昭
委員	全議員

☆庁舎整備検討 特別委員会

委員長	松澤 孝浩
副委員長	本田 均
委員	全議員

☆環境・下水道対策
特別委員会

委員長 五十里国明
副委員長 松田 俊弘
委員 元島 正隆
田中 伸一
本田 均
池原 純一
鍵田 昭

☆交通網対策
特別委員会

委員長 井田 義孝
副委員長 鍋嶋慎一郎
委員 松澤 孝浩
佐藤 一仁
野島 浩
中瀬 淳哉
岡島 功

☆後期高齢者医療
広域連合議会

議員 笹島 春人

☆新川広域圏事務
組合議会

議員 野島 浩
元島 正隆
松澤 孝浩

☆新川地域介護保険・
ケーブルテレビ事業
組合議会

議員 野島 浩
中瀬 淳哉
井田 義孝

☆新川地域消防
組合議会

議員 野島 浩
池原 純一
鍋嶋慎一郎

☆監査委員（議会選出）

委員 松澤 孝浩

新議員の紹介

「議席順」【敬称略】

氏名、年齢（10月30日現在）
党派新旧別、当選回数、職業、
住所の順



岡島 功 73
無元③
無職、芦崎



池原 純一 66
無現②
農業、桐山



鍵田 昭 66
無現②
会社員、東狐



鍋嶋 慎一郎 46
無現②
会社員、桐山



五十里 国明 77
自現③
農業、東五十里



田中 伸一 67
自現③
無職、田中



中瀬 淳哉 43
自現③
会社員、入膳



本田 均 63
無現③
自営業、入膳



井田 義孝 52
共現③
無職、芦崎



元島 正隆 68
自現⑦
農業、上野



松田 俊弘 65
共現⑦
無職、春日



松澤 孝浩 59
自現⑦
電気工事業、青木



佐藤 一仁 66
自現⑤
無職、横山



野島 浩 66
無現④
会社役員、舟見

町独自で農業者に支援

臨時会
11月1日

補正予算の概要

一般会計の補正予算の主な内容は、長期化する新型コロナウイルス感染症の影響に対する支援のための支援金、地域経済活性化を図るための2回目のプレミアム商品券を発行する事業費などである。

歳入、歳出ともに1億5328万円を追加し、総額106億4912万3千円とした。

◆新型コロナ対策で

○子育て支援事業費 606万円

経済的にも負担の大きい新生児の保護者への子育て支援を目的に、新生児1人あたり5万円分の「入善ジャンボール商品券」を支給する。

○産地づくり推進事業費

7446万円

外食産業を中心とした農作物の需要減少などにより打撃を受ける農家の営農継続を目的に、土づくりなどに要する費用の一部を支援するため、耕作面積10㌥当たり2千円の支援金を交付する。

○地域経済等支援事業費

6658万円

・県の営業時間短縮の要請に協力した飲食店に対する町独自の第2次上乗せ支援として「富山県新型コロナウイルス感染症拡大防止協力金」を受給した飲食店に対し、県支給額の10%をそれぞれ上乗せ交付するため増額する。

・停滞する町内の消費を喚起し、地域経済活性化のため、今年度2回目の40%のプレミアム付き商品券を発行するため増額する。

◆その他の事業

○企業立地推進事業費 586万円

シロウマサイエンス株式会社の工場増設に伴う、駐車場造成に係る設計業務委託料等を計上する。

○農地事務費

30万円

入善土地改良区が実施する農業用水路に架かる搬入路用鉄板の盗難防止対策に係る補助金を計上する。

監査委員の選任に同意

10月29日で任期満了となった議会選出の委員に新たに松澤孝浩議員を選任することに同意した。任期は4年となる。

11月臨時会の議決状況

		鍋嶋慎一郎	鍵田 昭	池原 純一	岡島 功	井田 義孝	本田 均	中瀬 淳哉	田中 伸一	五十里国明	佐藤 一仁	松澤 孝浩	松田 俊弘	元島 正隆
議案第45号	令和3年度入善町一般会計補正予算(第5号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
同意案第6号	入善町監査委員の選任について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○

※ ○：賛成、×：反対、—：除斥

※ 除斥…審議の公正を期するため、一定の利害関係を有する議員は、その審議に加わらない制度。

編集の窓

今年の夏に猛威を振るった新型コロナウイルスが収束しつつあります。

一方、世界各国では依然としてコロナの脅威にさらされている地域もあり、日本もいつ第6波に襲われるかわかりません。

現状に油断することなく、これまで同様、手洗いやうがい、マスクの着用が欠かせないでしょう。

さて、議会では改選・組織議会が行われ、新たに6名が議会広報編集特別委員会に選任されました。

町民の皆さんにとって、分かりやすく読みやすい広報となるよう、努めていきます。

議会広報編集特別委員会

議長 野島 浩
委員長 中瀬 淳哉
副委員長 鍋嶋慎一郎
委員 松田 俊弘
" 本田 均
" 池原 純一
" 鍵田 昭